

中国医学と道教 (X) 血湖説

吉元昭治

「血湖説」とは、地獄の中にあると信じられている血の湖に、分婁などで死亡した産婦は生前の報いで投げこまれ、著しい苦痛が与えられるという説である。

この苦しみから逃れるため「血盆経」という経典が一一世紀頃より生まれた。この経典に各種あり、仏教系統のものに「仏説大蔵正教血盆経」がある。

ここではおもに道教経典にみられる「血湖説」を中心として述べる。

(一) 『元始天尊濟度血湖真経』

元始天尊は、男女を問わず王法をおかしたり、戦いで人を殺したり、牢獄で鎖につなげたり、癰疽瘡毒になって膿血がしたり落ちていたり人を捨てたりした者は死後血湖に落ちるといふ。一般に女として生まれ妊娠すると前生の報

いを受けいろいろな厄難がある。月経のとき体や衣類を洗ったり、子供を育てるため、血で地を汚し、またその水を流しては河や井戸を汚なくする。人はそれを知らないでその水を飲み、食べ、神にそなえ、三光をおかす。あるいはあやまって毒物を飲み、腹の胎児が降りたり、産後に母が死んだり、あるいは母子ともに死亡したりする。これらはみな酆都の血湖地獄に落ちてしまう。元始天尊はさらに血湖地獄は、北陰大海の底にあり、そこに血湖硤石、大小鉄困、無間、溟汙地獄があり、さらに血池、血盆、血山、血海の四獄があつて相通じているといい、そこは血湖大神がとりしきっている。そこは暗く、汚穢にみち、落ちたものは鉄の杖で打たれ、池の血を飲めとせめられる。しかし、東方にある長楽世界の太一救苦天尊という神仙は、衆生を苦しみから救うことを念願としているから、念ずれば飛んできて救ってくれる。そこで元始天尊は大赦を宜して、太一救苦天尊に行うことを命じた。こうして酆都北帝、血湖大神や地獄の使吏はこれに従い、血湖は清められて宝地となり、人々は救われる。元始天尊は、自分のこのはなしは、『靈宝昇玄濟度血湖真経』であるといい、諸神諸仙に

説教した。

(二) 『太一救苦天尊説拔度血湖宝懺』

救苦天尊に妙行真人が、血湖は大鉄围山、無間之獄、碓石之獄などに囲まれ、その長さ二万二千里、周围八万四千里もある。ここにきた魂は、分婉時の障害、戦争、不慮の災難、悪病や死刑になったものであると説明する。天尊は衆生のために、太上真符などの符冊を述べたので、血湖は干上がり碧玉の池と化する。

ことに分婉のために死亡したことの説教が長く、宿世の仇が、今生で母子となり、母は子より罪を受けるのだと説く。ついで元始天尊、太一救苦天尊など一四〇あまり称名する神々の名があり、さらに豊都血湖獄定罪考鬼霊官以下、碓石獄、大小鉄围山、有間獄、無間獄、大地獄定罪考鬼霊官の名が連なっている。

(三) 『上清握中訣』

豊都頌をみる。

(四) 『靈宝領教濟度金書』

蕩胎告文、浄血戸告文、曲救産魂符告文。大赦産魂符告文、解産生厄告文、医母子俱亡符告文、医産死血戸符告文、元皇浄血戸沐浴真符告文、太上浄血戸清神符告文などがあ

(五) 『天上黄籙大齋立成儀』

祭祀の神位順序が詳しく、中に豊都三六地獄主者、同三官二四地獄主者、同五獄地獄四瀆地獄主者、一二河源地獄主者、碓石碓山血湖無間地獄主者などの名もあり、太一救苦天尊の名も出てくる。「豊都山真形」図もあり、破獄符告文の書き方も記されている。

(六) 『靈宝玉鑑』

「専度血湖論」があつて血湖地獄の説明がある。さらに「血湖図」「産死獄」の図、救墮胎落子之符、救母喪子存之符、救子喪母存之符、救已産俱亡之符、救未産俱亡之符、蕩血湖符などをみる。

(七) 『上清靈宝大法』

「血湖燈図」「血湖燈」「産死獄」「酆都燈図」などがあ
り、血湖では、翻体大神、擲尸大神が食心啖腦しているとい
う。また、追産死亡魂符、血湖燈檄符、天皇蕩滌淨血尸
符、蕩滌血湖告文、靈宝玉光蕩滌血湖符、淨血尸清神符な
どがあり、後三者は符の構成の解説がある。また祈禱をさ
さげる対象の中に、血湖内外諸大地獄主者、硤石地獄主者
などの名をみる。

(八) 『徐仙翰藻』

「建血盆疏」「散血盆会右語」「建血盆道場告諭文」「題血
盆会疏」などをみることができ。

なお発表に際しては、「善書」「宝卷」にみられる血湖や
血盆についても述べる。さらに、「目蓮救母」「玉曆宝鈔勸
世文」「白話玉曆」などにみられる民間信仰的な地獄観、地
蔵王菩薩と地獄、酆都とは何か、台湾を中心とした血池に
関係する女神である池頭夫人、さらに分娩の安全を祈る安
胎祈願などにもふれた。

要するに、子孫繁栄、多子多福を願った中国人の思想の

うらに、地獄と結んだ分娩に対しておそれが根強くあった
のである。

(順天堂大学産婦人科)